

化学物質等安全データシート(性状取扱情報)

作成日 2018 年 10 月 30 日
改訂日 2022 年 12 月 9 日

1 製品及び会社情報

製品名	:	クリームクレンザージフ レモン
会社名	:	ユニリーバ・ジャパン株式会社
住所	:	東京都目黒区上目黒 2-1-1
担当部署	:	コミュニケーション
電話番号	:	03-5723-2213
FAX 番号	:	03-3719-4409
緊急連絡先	:	03-5723-2213

2 組成、成分情報

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	4.9%	
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	1.9%	
研磨剤	約 20%	
香料	少量	
色素	微量	
その他	少量	
※各成分の CAS 番号および配合量は社外秘。		
※PRTR	:	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル

3 危険有害性の要約

分類の名称	:	該当なし。
危険性	:	該当なし。
有害性	:	目に入った場合 刺激性あり。 皮膚についた場合 刺激性あり。 飲み込んだ場合 毒性上ほとんど問題ないが、胃腸刺激とともに嘔吐や下痢症状がみられる。

4 応急措置

目に入った場合	:	こすらず、清潔な水で十分に目を洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	:	飲み込んだ時は、吐かずに、すぐ口をすすぎ、カップ1~2杯の水か牛乳、あるいは卵白を飲ませ、直ちに医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	:	水または微温湯でよく洗い流す。
吸入した場合	:	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、異常があれば医師の診断を受けること。

5 火災時の措置

消火剤	:	粉末消火器、二酸化炭素、泡、砂。
消火方法	:	一般には散水、消化剤で消火作業を行う。
可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。指定の消火器を使用すること。		

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 作業の際には、8に規定する保護具を着用する。

環境に対する注意事項: 公共用水域への流出を最小限に留める。

除去方法: • 大量の場合、容器・タンク等からの流出の防止を行う。ポンプ等により回収して密栓できる容器へ移し替える。回収できなかったものは、ウエス等による拭き取りを行った後、水で流すか水拭きする。
• 少量の場合、ウエス等による拭き取りを行った後、水で流すか水拭きする。

7 取扱い及び保管上の注意

【取扱い上の注意】

大量に、あるいは長時間にわたって皮膚に接触する場合には、ゴム等の不浸透性の手袋を着用する。

目に入った場合には、こすらずに水で洗い流す。

食器・調理器具等に使用する場合は、使用後水でよくすすぐ。

【保管上の注意】

直射日光の当たる場所又は極端に高温・低温になる場所を避け、よく換気され、乾燥した冷暗所に保管する。乳幼児の手の届かないところに置く。

8 暴露防止及び保護措置

【保護具】

手の保護	: 大量に扱う場合、ゴム等の不浸透性の手袋。
目の保護	: 大量に扱う場合、ゴーグル等。
皮膚及び身体の保護具	: 状況に応じ、ゴム長靴、前掛け。

9 物理的及び化学的性質

性状	液体
色調	淡い黄色
臭気	芳香
溶解性	水に可溶(研磨剤を除く)
引火点・発火点	データなし
自己反応性・爆発性	無
pH	10.5-11.4

10 安定性及び反応性

通常の条件では安定である。

11 有害性情報

通常の使用方法では害はない。

12 環境影響情報

通常の使用方法では環境に与える影響は小さい。

13 廃棄上の注意

大量に廃棄する場合	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
少量を廃棄する場合	: 大量の水で十分希釈して排水する。

14 輸送上の注意

容易に変形、破損しない容器に入れ、密栓して輸送する。直射日光下および高温化の輸送を避ける。

運搬に際しては、容器からの漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

- | | |
|-------------------|-------------|
| 家庭用品品質表示法 | : クレンザーに該当。 |
| 化学物質管理促進法(PRTR 法) | : 該当。 |
| 消防法 | : 該当せず。 |
| 労働安全衛生法 | : 該当せず。 |

16 その他の情報

- | | |
|--------------|-------------------|
| 日本化学工業協会 | : 製品安全データシートの手引き。 |
| 日本石鹼洗剤工業会 | : 誤飲・誤用の応急措置。 |
| 各種原料安全データシート | |

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。